

# 会 告

## 第 48 回通常総会および第 17 回年次学術講演会

土木学会誌第 46 巻 12 号 (12 月号) で予告したとおり、昭和 37 年度通常総会 (第 48 回) および第 17 回年次学術講演会は、東京都において開催いたしますので、講演ご希望の方は下記講演要領をご覧の上必ず 2 月 20 日までにお申し込み下さい。

	日 時	場 所
●通 常 総 会	37 年 5 月 26 日 (土) 9.30~12.00	早稲田大学大隈小講堂
●綜 合 講 演	37 年 5 月 26 日 (土) 13.00~17.30	同
●年次学術講演会	37 年 5 月 26 日 (土) 13.00~17.30 27 日 (日) 9.00~17.30	早稲田大学各教室
●懇 親 会	37 年 5 月 26 日 (土) 18.00~19.30	早稲田大学大隈会館
●見 学 会	37 年 5 月 28 日 (月) (予 定)  5 月 28 日 (月), 29 日 (火) (予定)	①首都高速道路工事現場, 地下鉄, 国立競技場諸施設 ②東京港および建設機械展示会 (日本建設機械化協会主催) ③東村山浄水場, 鉄道技術研究所, 運輸技術研究所 日本道路公団箱根バイパス, 早雲山一大湧谷一湖尻間 (ロープウェイ), 国鉄新幹線新丹那トンネル東または西口

### 年 次 学 術 講 演 申 込 要 領 (\*印は従来と多少変更のあったものですから御注意下さい)

- (1) 講演は原則として未発表のものにかぎりませう。
- \* (2) 講演時間は **10 分**とし、数編の講演後にまとめて討議時間を設けます。
- \* (3) 講演部門は原則として、土木学会論文集委員会の部会による予定ですから、ご希望の部門をお知らせ下さい。なお都合によって部門を変更させていただくことがありますから、ご了承の上第 2 希望の部門をお書き添え下さい。
  - 第 1 部門：応用力学，構造力学，橋梁等
  - 第 2 部門：水理学，水文学，河川，港湾，海岸工学，発電水力，衛生工学等
  - 第 3 部門：土質力学，基礎工学，土木機械，施工等
  - 第 4 部門：鉄道，道路，コンクリートおよび鉄筋コンクリート，土木材料，都市計画，空港，測量等
- (4) 講演希望者は題目，講演者氏名，(連名の場合は○印をつけること) 勤務先および連絡先，会員種別，学位等を記載して必ず **2 月 20 日**までに所属支部にお申し込み下さい (関東地区は本部)。
- (5) 講演にスライド (35 mm 版) を利用することができますので、あらかじめご通知下さい、ただし設備の関係上人員を制限することがあります。
- (6) 講演概要は前回と同様に講演前に著者の原稿をそのまま縮写して、オフセット印刷といたしますから、必ず学会指定のオフセット用原稿用紙 (40 字×37 行=1,480 字詰) をご使用下さい。この原稿用紙は各支部に用意してありますから、お申し込みと同時に所属支部にご請求下さい。
- (7) 原稿は、原稿用紙添付「原稿の書き方」にしたがって清書 (墨書き，タイプライターの場合は黒色テープ使用) とし **3 月 25 日** (期限厳守) までに所属支部にお送り下さい。期限におくれたものは講演概要に登載できませんからご了承下さい。
- \* (8) 原稿の長さは 1 題目について 2 ページ (図・表・写真とも) を原則とします。特に超過する場合は、超過 2 ページに限り **1,000 円**の割合で製版料を申し受けます。
- (9) 申し込みの題目と講演概要に記載する題目とを、変更しないように願います。
- (10) 講演者には関係部門の概要 1 部，抜刷 20 部に限り無料贈呈いたしますが、抜刷はそれ以上の印刷は困難ですからご容謝下さい。
- (11) 各支部所在地
 

本 部：東京都新宿区四谷一丁目		電 (351) 5138
北海道支部：札幌市北三条西六丁目	北海道土木部河川課内	電 (5) 9111
東北支部：仙台市北三番丁 124	東北地方建設局内	電 (2) 4191
中部支部：名古屋市昭和区狭間町 30	中部地方建設局企画室内	電 (73) 8151
関西支部：大阪市東区京橋 3 の 70	大阪建設会館内	電 (84) 3651
中国四国支部：広島市千田町 3	広島大学工学部土木工学科内	電 (4) 1161
西部支部：福岡市上呉服町 20	日本道路公団福岡支社調査課内	電 (3) 8631

## 昭和 36 年度土木学会名簿発刊について

昭和 36 年度土木学会名簿が発刊されましたので、36 年度会費完納の方には全部お送りいたしました。万一会費を完納された方で名簿が未着の場合は至急学会まで御連絡下さい。調査の上お送りいたします。会費未納の方もこの際御払込み下されば順次名簿をお送りいたします。

なお 10 月号に発表いたしましたとおり学生員を除く全員には無償で贈呈いたしますが、郵送料その他として一部につき金 100 円の御負担をお願い申し上げます。切手封入その他ご便宜な方法で至急お送り下さい。

頒 価：学生員特価 200 円 会員外 300 円 (〒 100 円)

体 裁：A 5 判 7 横組 598 ページ

- 内 容：1. 学会要項：定款および規則、各支部規定、役員および職員、各委員会委員  
 2. 会員名簿：個人会員、特別員、賛助員  
 3. 主要要項：土木賞受賞者、前会長、名誉員、職場班  
 4. 土木関係主要機関：国会、官公庁、公共企業体、学校、研究機関、各種学協会  
 5. 業界案内：
- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| (1) 電力会社                   | (6) 土木機械・土木建築用品製作業 |
| (2) コンサルタンツ業               | (7) 諸工事業           |
| (3) 建設業(その1), (その2), (その3) | (8) 試験機・計量機器製作業    |
| (4) コンクリート工業               | (9) 土木建築材料業        |
| (5) 橋梁・水門製作業               | (10) 測量・測量機器・出版業   |

## 第 5 回関東地区学生諸君のための映画会

建設技術フィルムライブラリーと共催による第 5 回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおりに開催いたしますから多数御来会下さい(入場無料)。

### 記

- 開催日時：昭和 37 年 2 月 17 日(第 3 土曜日) 14.00~16.00
  - 場 所：土木学会会議室(東京都新宿区四谷 1 丁目) 国電、地下鉄四谷駅・バス、都電四谷見付下車徒歩 3 分
  - 上映映画：(1)橋のしくみ (2)橋(多摩川大橋) (3)脇谷橋(PCディバダグ工法) カラー
- ◎第 6 回(3 月)以降は毎月第 3 土曜日を定例開催日といたします。

## IAHR キャピテーションおよび水力機械国際会議

時 期：1962 年 9 月 3 日~8 日

場 所：仙台市 東北大学(3 日~6 日) 見学：東京(7 日~8 日)

参加申込期日：1962 年 2 月 20 日 東北大学高速力学研究所内 IAHR キャピテーションおよび水力機械国際会議組織委員会まで  
 申込書は土木学会にありますからご連絡下さい。

会 費：IAHR の会員：\$ 15 非会員：\$ 15+\$ 5 同伴者：\$ 10

仙台市東二番丁 68 富士銀行仙台支店 Japan Local Organizing Committee of IAHR 口座番号 ⑧ 318

## 「水理学および水力機械に関する第 1 回アジア会議」開催のお知らせ (First Asian Conference in Hydraulics and Hydraulic Machines)

- 場 所：インド Bangalore
- 主 催：Indian Institute of Science
- 時 期：1962 年末または 1963 年はじめ頃
- 主 題：a) 開水路および管路の流れ b) 空気連行流 c) キャピテーション d) 水力タービンおよびポンプ e) 水理計測
- 論文提出期日：概要は 1962 年 3 月まで、本文は 1962 年 8 月まで  
 会議の正確なスケジュールおよび詳細は追って主催者より学会宛に通知されるはずですが、参加御希望の方は学会へ御連絡下さい。

## 第9回国際水理学会会議報告懇話会の開催について

昨年9月ユーゴスラヴィヤのドウプロナニクにおいて開催された第9回国際水理学会会議に御出席の方々による報告懇話会を下記により開催いたします。知友お誘い合せ御出席下さい。

### 記

- 日 時：昭和 37 年 2 月 5 日 (月) 4 時～17 時  
 会 場：土木学会会議室 (新宿区四谷 1 丁目)  
 講 師：(50 音順)  
 藤田組常務取締役 土木部長 秋 草 勲 大阪市立大学 教授 永井 荘七郎  
 京 都 大 学 助 教 授 岩 佐 義 朗 中央 大 学 教 授 林 泰 造  
 大 阪 大 学 教 授 田 中 清

## 関 西 支 部 行 事 案 内

(大阪市東区京橋 3 丁目 70 大阪建設会館内)  
 電、大阪 (94) 3651-3, 振替口座大阪 82599 番

### (1) 土木の法面工法研究会

- 1) 日 時：昭和 37 年 3 月 6 日 (火) 13 時～16 時  
 2) 場 所：大手前会館 3 階講堂 電、(94) 1201 (大阪市東区京橋前之町 2 市電停, 京阪東口下車)  
 3) 題目と講師：  
 13.00—14.15 ①法面の緑化について 京都大学農学部 助教授 農博 新田 伸三  
 14.15—15.30 ②名神高速道路の法面工法について 日本道路公団名神高速道路試験所 調査役 伊 吹 正 紀  
 15.30—16.00 質 疑 応 答  
 4) 定 員：200 名  
 5) 参 加 費：無料 (来聴歓迎)

### (2) 溶接に関する講習会

- 1) 期 日：昭和 37 年 3 月 28 日 (水), 29 日 (木) の 2 日間  
 2) 場 所：大阪府職員会館 2 階大講堂 電、大阪 (94) 0351 (大阪市東区大手前之町, 大阪府庁本館西裏)  
 3) 題目と講師

#### 第 1 日 (3 月 28 日)

開会の挨拶

- 9.00—10.30 溶接工学の現況 大阪大学 工学部長 教授 工博 岡 田 実  
 10.30—12.00 溶 接 設 計 大阪大学 教授 工博 渡 辺 正 紀  
 13.00—14.30 溶接橋梁の製作 汽車製造KK大阪製作所製造部長 岡 田 総太郎  
 14.30—16.00 溶接橋梁の検査 汽車製造KK大阪製作所検査第三課長 柴 谷 仁 人

#### 第 2 日 (3 月 29 日)

- 9.00—10.30 ベンストックの溶接 KK酒井鉄工所 専務取締役 池 上 輝 夫  
 10.30—12.00 溶 接 機 器 大阪変圧器KK溶接機事業部次長 工博 長谷川 光 雄

午 後 見 学 (観光バス利用)

#### A 班 (200 名) 溶接機器とその実演：大阪変圧器KK溶接機工場 (大阪府三島郡三島町大字坪井)

- 1 班 13.00 府職員会館発—14.00 大阪変圧器着—見学 2 時間, 解散  
 2 班 13.30 同 —14.30 同 一 同 , 同

#### B 班 (150 名) 橋梁溶接：汽車製造KK大阪製作所 (大阪市此花区島屋町 406)

- 13.00 府職員会館発—14.00 汽車製造着—見学 2 時間, 解散

(注意) 見学はA班B班のいずれかとし参加申込みの際第 1 志望, 第 2 志望の班名 (A または B) を明記して下さい。ただし志望別およびA班の 1 班, 2 班の割当ては先着順となりますから御了承下さい (合計 350 名限り)。

- 4) 定 員：350 名  
 5) 参 加 費：500 円  
 6) 申 込 期 限：昭和 37 年 3 月 10 日 (土)  
 7) 申 込 要 領：参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および見学の第 1 志望, 第 2 志望の班名 (A または B) を明記の上 (記載されていないものは見学しないものとみなします), 参加費 500 円 (送金は振替口座利用) を添えて 3 月 10 日までに土木学会関西支部へ申込んで下さい。ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申込んで下さい。参加者には参加章をお送りしますから当日は必ず御持参下さい。参加章のない人は入場をお断り致します。  
 8) そ の 他：テキストのみの希望者には一部 350 円 (送料は追って広告) でお頒ちします。

(3) 第 4 回見学会 (37 年 2 月 6 日)

(4) 爆破に関する技術研究会 (37 年 2 月 13 日)

} 詳細は学会誌 12 月号を御覧下さい。

北海道支部行事業内

(札幌市北三条西六丁目 北海道土木部河川課内 電、札幌(5) 9111)

研究発表会ならびに講習会

1. 期 日：研究発表会 昭和 37 年 2 月 27 日(火) 9~17 時  
 講習会 昭和 37 年 2 月 28 日(水) 9~17 時
2. 場 所：27, 28 日とも札幌市北 1 条西 1 丁目 札幌市民会館 2 階 1 号会議室
3. 定 員：約 250 名
4. 会 費：無 料・申込は当日会場で受付ます。
5. 印刷物：研究発表会・技術資料第 18 号として会員に無料配布します。  
 講習会・当日会場にて御渡しします。
6. 研究発表会内容(順不同)
- |   |           |           |
|---|-----------|-----------|
| ① 漁川およびその近隣河川の冬期湛水量                                 | 北 大       | 岸・中尾・上岡   |
| ② 石狩川上流部双雲別における流出解析                                 | 北 大       | 中 尾 欣四郎   |
| ③ 急勾配開水路関係模型実験におけるフルード相似率の意義について                    | 北 大       | 尾 崎 晃     |
| ④ 衛生工学科の拡充計画について                                    | 北 大       | 林 猛 雄     |
| ⑤ 寒冷地における都市下水の活性汚泥処理法に関する研究                         | 北 大       | 神 山 桂 一   |
| ⑥ 曲線型を有する連続バリについて                                   | 室工大       | 能 町 純 雄   |
| ⑦ 合成桁のジベルに関する振動的考察                                  | 室工大       | 能 町・尾崎・工藤 |
| ⑧ 節点剛性の影響を考慮せるトラスの厳密タワミ計算法について                      | 室工大       | 中 村・番 匠   |
| ⑨ 上厚真大橋の下部工事の一考察について                                | 北海道       | 萩 原・能 町   |
| ⑩ 個々の堤体を延長方向に連結した場合の防波堤の安定<br>——堤体の水平微小変位をも考慮するとき—— | 北海道       | 石 倉・能 町   |
| ⑪ 静内ダムにおける砂礫層河床の誘水試験について                            | 北 電       | 桃 井 義 之   |
| ⑫ 本別発電所工事概要について                                     | 電 発       | 泉 ・ 木 村   |
| ⑬ 可動橋の諸問題について                                       | 開発コンサルタント | 阿 部・青 木   |
| ⑭ 旭西橋架換工事報告   | 旭川市       | 木 村 正 博   |
| ⑮ 釧路市総合都市計画と都市建設について                                | 釧路市       | 田 元 政 善   |
| ⑯ 南 22 条橋の設計施工計画について                                | 札幌市       | 村 田 勝 弘   |
| ⑰ 横荷重におけるクイに関する一考察                                  | 開発局       | 竹 下 淳     |
| ⑱ 36 年度 7 月の集中豪雨による石狩川の出水について                       | 開発局       | 土佐林・山 口   |
| ⑲ 石狩川上流部の流出解析                                       | 開発局       | 上 条 俊 一 郎 |
| ⑳ 港湾の経済効果の算定について                                    | 開発局       | 計 良 勇 吾   |
| ㉑ 泥炭地のサンド ドレーン工法について                                | 開発局       | 加 来 照 俊   |
| ㉒ クイ出し水制の実験的考察                                      | 開発局       | 山岡・小川・内山  |
| ㉓ 基礎地盤調査に用いる各種サウンディングについて                           | 開発局       | 北川・松本・佐田  |
7. 講習会内容
- |                       |             |     |         |
|-----------------------|-------------|-----|---------|
| ① 泥炭地における土質工學上の二、三の問題 | 北海道開発局土木試験所 | 工 博 | 宮 川 勇   |
| ② オペレーションズ・リサーチとその応用  | 北海道大学工學部助教  |     | 五十嵐 日出夫 |

プレストレスト コンクリート技術協会

第 2 回年次学術講演会および見学会開催について

プレストレスト コンクリート技術協会では、土木学会ならびに日本建築学会後援のもとに第 2 回年次学術講演会および見学会を下記のとおり開催しますので、多数ご参加下さい。

記

見 学 会

- 期 日：昭和 37 年 2 月 2 日(金)
- 見 学 場 所：①鈴木金属KK習志野工場建築 PC 工事 ②船橋ヘルスセンター ホテル建築 PC 工事
- 集 合：国電津田沼駅前 12 時 45 分まで
- 発 出：13 時 00 分(バスによる)
- 解 散：国電船橋駅 16 時 30 分頃

講 演 会

- 期 日：昭和 37 年 2 月 3 日(土)
- 会 場：千代田区丸の内 3 の 4、生命保険協会講堂
- 開 会：9 時 00 分
- 講 演：9 時 05 分~16 時 00 分
- 1 題目 15 分とし、3 題目ごとに 10 分の質疑時間をとる
- 題 目：理論、設計、施工、材料、工事報告、総計 20 題
- テ キ ス ト：印刷の上実費頒布の予定

【注 意】 1. 講演題目および順序等については協会誌プレストレスト コンクリート第 3 巻 6 号(12 月発行)に詳細掲載しましたから御覧下さい。  
 2. 準備の都合がありますので見学会および講演会に出席希望の方は 1 月 15 日までに必着するようハガキで御申込み下さい。